

鹿児島県漁海況週報

平成24年4月26日発行(4月19日～4月25日)
第2453報【旧暦:3月29日～閏3月5日/月齢27.5～3.8/潮汐:大潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
HP: <http://kagoshima.suigi.jp/>

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、4月25日現在、平瀬の南6.9マイル付近にあり、離岸している。

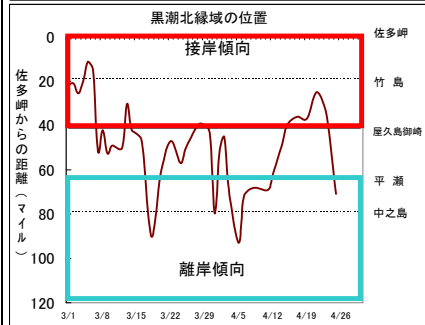
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、4月24日現在、54マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、与論で1.0℃降温し、その他の海域で0.2～5.0℃昇温した。

平年比較では、与路島で“かなり低め”、与論で“平年並”、甌海峡で“かなり高め”、その他の海域で“やや高め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	25.0	+1.1	+1.0	やや高め
鹿児島	19.2	+2.7	+0.8	やや高め
佐多岬	20.3	+3.4	+0.8	やや高め
竹島	22.0	+5.0	+1.0	やや高め
屋久島御崎	23.2	+0.6	+1.5	やや高め
中之島	24.6	+1.0	+1.1	やや高め
笠利崎	23.1	+1.7	+0.6	やや高め
与路島	21.3	+0.2	-1.0	かなり低め
与論	22.7	-1.0	+0.2	平年並
甌海峡	20.5	+3.6	+1.8	かなり高め

鹿児島～那覇定期客船観測は4/25～4/26
串木野～甌定期客船観測は4/25

【漁況】

○定置網

甌島海域では、サハ仔が250kg/日の入網。西薩南部海域では、サハ仔が1.5～2トン/日、カマス(150g～200g)が500～600kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、サハ仔が4トン/日、ブリ(5～8kg)が1日のみ50尾の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でサハ仔が7トン、ブリ(5～7kg)が30尾の入網。大隅半島東部海域では、週計で48統がサハ類小、マジ小、ソウダガツオ主体に41トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカタチイシ、マジ主体に9.4トンの入網。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、大トビを多い船で200箱/統・日、中トビを50箱/統・日の漁。屋久島海域では、大トビを20～150箱/統・日、中トビを40～230箱/統・日、小トビを2～6箱/統・日の漁。

○キビナゴ刺網

甌島海域及び鹿児島湾口部大隅半島側では、5～6箱/隻・日の漁。

(まき網、専受網、カツオ平均の漁況は下記の記事に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2404報)					
						1日1統	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量	
旋網	阿久根	大	0	—		—	2	11	1	35	
		中	13	147	長島 野間池沖	カタチイワシ60 ウルメイワシ16	11.3	13	85	8	161
	枕崎	大	5	194	宇治 屋久新曾根	ブリ24 ウルメイワシ18 ゴマサハ中14	38.8	8	587	2	131
		中	13	350	宇治 鹿島内之浦沖 志布志沖	ゴマサハ中132 ウルメイワシ29 プリ12	26.9	26	935	1	16
	内之浦	中	0	—			—	1	4	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
計	大	5	194			38.8	10	598	3	166	
	中	26	497			19.1	40	1025	9	177	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
	枕崎	1	195		マサハ豆48 ゴマサハ豆30 マジ豆19	194.8	2	95	0	—	
棒受網	阿久根	9	26	阿久根沖	カタチイワシ100	2.9	13	12	15	61	
	内之浦	0	—			—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	48	41		サハ類小45 マジ小13 ソウダガツオ8	0.8	58	37	56	161	
刺網	阿久根	大	0	—		—	0	—	0	—	
		小	0	—			—	0	—	7	189
カツオ竿釣・海外旋網	海旋	2	1,450		カツオ中51 カツオ小45	725.2	2	1,551	0	—	
	山川	中	0	—		—	0	—	10	129	
	海旋	2	1,106		カツオ小85 キハダ14	553.1	3	1,314	0	—	

○パッチ網

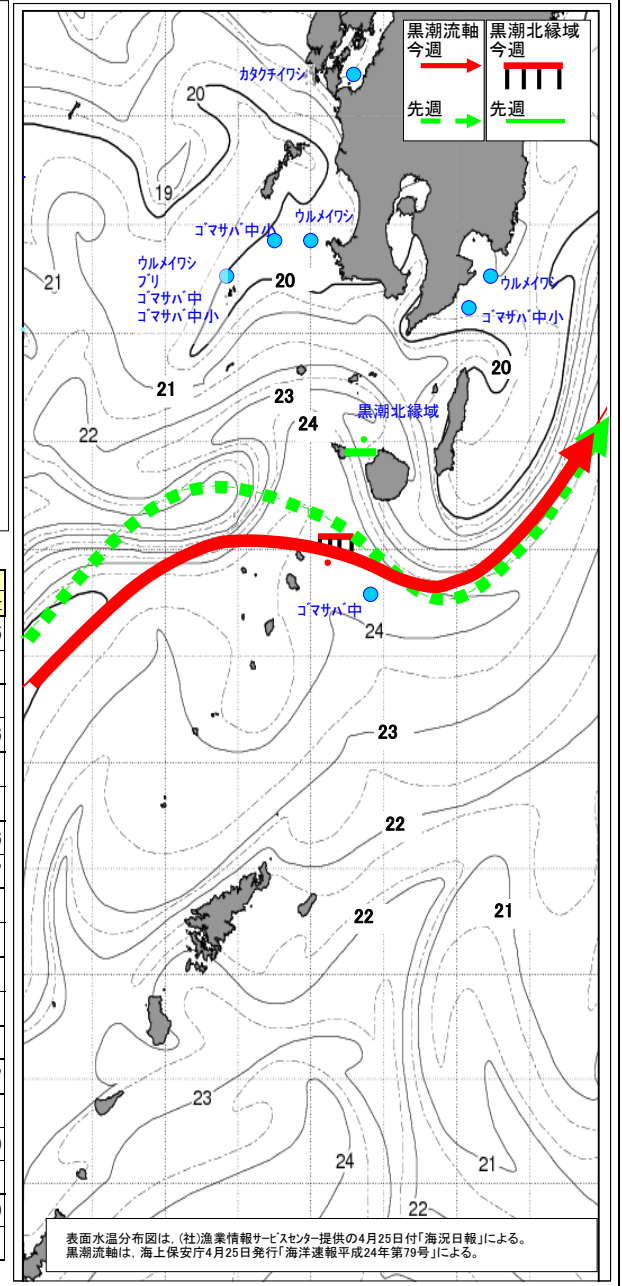
西薩海域及び西薩南部海域では先週に比べ低調な漁もようであった。志布志海域では製品で5.6トンの入札があった。

○もじゃこ漁業

4月12日の解禁以降、順調な漁が続いており、目標数量に達した地区もある。県全体でも、解禁日からの2週間合計で目標数量の約6割に達しており、順調な漁もようとなっている。

○その他

甌海域では、一本釣りでもたい(4～6kg)が150kg/隻・日の漁。西薩海域では、ごち網でもたい(1～3kg)が20～100kg/隻・日、ちがい(200～500g)が15～50kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、ごち網でもたい(1～3kg)が10～25kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網で、たい(2～4kg)が20～40kg/隻・日、ちがい(300～400g)が15～30kg/隻・日、コウイカ(1～2kg)が15～20kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しでもたい(10～11kg)が3日操業で10～40ハイ/隻、2日操業で5～15ハイ/隻、日帰り操業で1～5ハイ/隻の漁でやや低調となった。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の4月25日付「海況日報」による。黒潮流軸は、海上保安庁4月25日発行「海洋運報平成24年79号」による。